



ACCSJ 認証制度について 〔2023年9月版〕

本文書は、面会交流支援に関する ACCSJ 認証制度について、認証を受けることを検討する支援団体や個人に向けて、その具体的手続きや費用等について説明することを目的としています。ACCSJ 認証は、ACCSJ が整備する基準や規定等に基づいて行われ、諸規定は全て公開されています。不明な点がありましたら、本文書最後に記載する ACCSJ 運営事務局に問い合わせてください。ACCSJ 認証制度の意義についてご理解いただき、たくさんの団体や個人みなさまに ACCSJ 認証についてご検討いただければと思います。

目次

1. ACCSJ 認証制度の意義	2
2. ACCSJ 認証の基準と認証手続きの概要	2
2-1. ACCSJ 認証の基準：「ACCSJ 面会交流支援における原則と基準」	2
2-2. 認証方法と手続きの概要	3
3. ACCSJ 会員	4
3-1. ACCSJ 会員の種類	4
3-2. 正会員に向けた ACCSJ サービス	5
3-3. 会員費用	6
3-4. 入会の手続き	6
4. ACCSJ 認証手続きの詳細	7
4-1. ACCSJ 認証手続き	7
4-2. ACCSJ 継続認証の手続き	8
4-3. 認証・継続認証費用	9
5. ACCSJ 研修	10
5-1. ACCSJ 研修の種類と概要	10
5-2. ACCSJ 研修の参加資格および参加費用	11
6. 初年度特例について	11

1. ACCSJ 認証制度の意義

現在、子が安全に、安心して面会交流を行えるよう、付添い、受渡し等の方法で親子を支援する第三者機関（面会交流支援団体）が重要な役割を果たしています。

一方で、支援方法や安全基準、支援者の研修等は各団体に委ねられています。支援団体に求められるスキルや安全性に関する事項などが基準として設定され、その基準を満たしていることを確認できる制度があれば、当事者は安心して支援を受けることができます。

また、子の権利を保障し、子の福祉を実現するための面会交流支援に求められる基準が提示され、それを満たすことが示されていれば、各団体に対して公的な財政的支援を行うことについて、社会的理解も得られやすくなります。加えて、新しく支援を開始しようとする団体にとって、上述のような基準があり、研修が提供されるなど、既存の団体が構築してきたスキルやノウハウを共有できる仕組みがあれば、安心して団体を立ち上げ、スムーズに支援を開始することができます。そして、現在、支援団体のない地域が多くあるところ、支援団体の全国展開が可能になります。

ACCSJ は、以上の趣旨から、面会交流支援団体の適性を示す基準を作成し、その基準を満たす団体を認証する制度の構築を目指して活動してまいりました。いよいよ、認証の試行的実施として、2022年10月より認証申請の受付を開始します。本文書は、ACCSJ 認証の概要や手続き、ACCSJ の継続的運用の仕組みについて説明します。ACCSJ 認証制度の意義についてご理解いただき、ACCSJ 会員への入会や ACCSJ 認証の申請をご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*ACCSJ の基本方針について、「一般社団法人面会交流支援全国協会基本方針」（2021年9月2日）を確認してください。

2. ACCSJ 認証の基準と認証手続きの概要

2-1. ACCSJ 認証の基準：「ACCSJ 面会交流支援における原則と基準」

ACCSJ 認証では、「**ACCSJ 面会交流支援における原則と基準**」（以下、ACCSJ 基準）を、認証を受ける団体が満たしていることを ACCSJ が確認し公示します。本節では、ACCSJ 基準の趣旨や概要について説明します。

・面会交流支援の共通の理解と基準を示します

ACCSJ 基準は、日本における多様な支援団体の実態に則した基準となるよう、面会交流支援の**共通の理解**と支援団体が遵守すべき**ミニマムの基準**を示します。ACCSJ は、あわせて、よりよい支援を実現するためのガイドラインや研修プログラムを整備しています。ACCSJ ガイドラインは、日本の支援団体の協力のもとで作成しており、ACCSJ 基準に即したモデルとして提示するものです。認証の基準そのものではありません。一方で、ACCSJ が提供する研修プログラムの一部の受講は、認証を受ける要件となっています。

・子どもや利用者の安心と面会交流の安全を第一に考えます

「面会交流は子どものためにある」ことを共通の理解とします。子どもが安心して面会交流をすることができる支援を実現するためには、安全確保のための事前の準備と確認がかかせません。そのため、ACCSJ 基準では、利用者の遵守事項の設定や事前面談を求めています。また、利用者が安心して支援団体を選ぶことができるように、各団体が整備すべき体制や規則等について示しています。

<基準の項目>

ACCSJ 基準は、下記の 11 条項で構成され、あわせて、具体的な解釈を示すガイドラインを整備しています。認証を受ける団体が基準を満たすための整備に必要な場合には、参考となる規定や契約等の様々な型を関係する団体と協力して提供します。

1. 面会交流支援の基本的な目的
2. 運用上の責務と管理
3. スタッフの採用と管理
4. 面会交流支援の内容と支援団体の役割
5. 個人情報の保護
6. 支援機関が整備すべき文書
7. 支援実施の手順と内容
8. 交流の記録
9. 事故および苦情への対応
10. 困難ケースの対応および支援者支援の体制
11. 面会交流支援における安全の確保

<各種ガイドライン>

ACCSJ が整備する各種ガイドラインは、ACCSJ 基準に則して具体化した、面会交流支援のあり方のモデルです。ACCSJ 認証の基準そのものではありません。しかし、複数の支援団体の協力を得て作成したものですので、トラブルを回避したり、よりよい支援を実現するための指針となることでしょう。現在、下記のガイドラインが公表されていますので参考にしてください。

- ACCSJ ガイドライン 101：ACCSJ 面会交流支援マニュアル
- ACCSJ ガイドライン 102：ACCSJ 面会交流支援における安全の確保に関するガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 103：ACCSJ 面会交流実施記録に関するガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 104：ACCSJ 事前面談ガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 105：ACCSJ 子どもの意思に関するガイドライン（未公開・作成中）
- ACCSJ ガイドライン 106：ACCSJ オンライン面会交流ガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 201：ACCSJ 個人情報保護に関するガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 202：ACCSJ スタッフ採用に関するガイドライン
- ACCSJ ガイドライン 301：ACCSJ 非弁行為に関するガイドライン

2-2. 認証方法と手続きの概要

ACCSJ 認証は、ACCSJ が、申請団体が ACCSJ 基準を満たすことを認証するものですが、その適否の判断は、**ACCSJ 認証委員会**が行います。ACCSJ 認証は、「ACCSJ 認証規定」および「ACCSJ 認証規定に関連する規定」に基づきます。**ACCSJ 認証を受けることができるのは、ACCSJ 正会員**である団体および個人です。ACCSJ 認証は、ACCSJ 基準を満たし、ACCSJ 研修プログラムの受講を完了していることを示すものです。

ACCSJ 認証の有効期間は、認証証書に記載の日から、認証を受けた年の翌年 1 月 1 日を起算日とした **3 年間**です。認証の継続を求める団体および個人は、認証期間が満了するまでに **ACCSJ 継続認証**を受け

ます。再認証となる ACCSJ 継続認証は、簡易な手続きで再認証を受けることを可能にします。

<ACCSJ 認証委員会>

認証の適否を判断する各 ACCSJ 認証委員会は 3 名の委員で構成されます。ACCSJ 認証委員は、ACCSJ スタッフではなく、面会交流支援の実績と経験の豊富な支援者、法曹や臨床心理士・公認心理師等の実務家、法学や心理学等の専門家が、ACCSJ の委嘱を受けて委員となります。ACCSJ 認証委員は、ACCSJ の基本方針を理解し、ACCSJ 基準に基づいてその適否を判断しますが、独立した委員としてその判断を行います。

<ACCSJ 認証に必要な項目>

ACCSJ 認証を受けるためには、下記を満たす必要があります。

- ① ACCSJ 正会員であること
- ② ACCSJ 認証申請の登録
- ③ 認証申請費用の支払い
- ④ 関係書類の提出

ACCSJ 基準申告書、基準を充たすことを示す団体内規定や利用契約書等を提出します。

- ⑤ ACCSJ 研修プログラムの受講

認証に必要とされる研修プログラム全部の受講が必要となります。

- ⑥ ACCSJ 認証委員会の面談

提出された関係書類に基づいて ACCSJ 認証委員会が面談し、その後、認証判断を行います。

<認証までのイメージ>



* 認証手続きの詳細は、本文書「4. ACCSJ 認証手続きの詳細」にあります。

3. ACCSJ 会員

「ACCSJ 会員規約」に基づき、入会や会員取消の手続きを整備しています。

3-1. ACCSJ 会員の種類

ACCSJ 会員には①**正会員**と②**賛助会員**があります。いずれも、入会を希望する団体や個人が ACCSJ の基本方針に賛同していることが条件となります。

*ACCSJ の基本方針について、「一般社団法人面会交流支援全国協会基本方針」（2021 年 9 月 2 日）を確認してください。

①正会員

正会員には、次の団体や個人が対象となります。正会員になると、ACCSJ 認証の申請や ACCSJ 研修プログラムの受講、フォーラムへの無料参加など、正会員としてのさまざまな ACCSJ サービスを受けることができます。

- ・面会交流支援に携わっている団体または個人
- ・これから面会交流支援を行うことを予定している団体または個人
- ・面会交流支援に関心を持つ個人

②賛助会員

ACCSJの基本方針に賛同する団体や個人は、ACCSJ正会員とは別に、賛助会員になることができます。賛助会員は、ACCSJの活動への賛同を表明し、経済的にACCSJの運用を支援するサポーターです。正会員としてのサービスを受けることはできませんが、ACCSJが行うイベントその他の案内や、ACCSJの活動報告を受けることができます。

3-2. 正会員に向けたACCSJサービス

ACCSJは、面会交流支援の質を確保し、よりよい支援を実現するための制度を、ACCSJ正会員と一緒に構築していきます。ACCSJは、経験ゆたかな面会交流支援者や、面会交流支援に関係する専門家および実務家の協力のもと、次のサービスをACCSJ正会員の団体および個人に提供します。

① ACCSJ 認証

ACCSJ正会員の団体および個人は、ACCSJ認証を受けることができます。本文書2. および4. をご確認ください。

② ACCSJ 研修プログラム

ACCSJ正会員の団体に属するメンバーおよびACCSJ正会員の個人は、ACCSJ研修プログラムを受講することができます。ACCSJ研修プログラムには、ACCSJ基礎研修（有償）とACCSJスキルアップ研修（無償）があり、面会交流支援者が支援にかかる知識やスキルの習得を目指すプログラムです。

③ ACCSJ フォーラム

ACCSJフォーラムは、正会員のネットワーク構築や研究成果の共有を目的として開催されます。会員間の交流や意見交換を目的として2ヵ月毎に定期開催される「ACCSJカフェ」、面会交流支援事例検討会、研究報告会、外部講師等を招聘して開催するものがあります。ACCSJフォーラムへの参加や報告は無料です。

④ 面会交流支援相談

ACCSJ正会員の団体および個人に向けて、ACCSJは、面会交流支援における実務上の相談窓口を設定します（現在準備中）。相談は無料です。弁護士や臨床心理士・公認心理師等の専門家に依頼する必要がある場合には、ACCSJより専門家を紹介することが可能です。相談窓口の詳細は、後日、発表します。

⑤ 面会交流関連情報の提供

面会交流支援団体に関係する諸規定の成立や改訂、公的助成などについてとりまとめ、ACCSJ ニュースレターとして情報提供します。

⑥ ACCSJ 活動報告

年に1回、ACCSJ の活動報告を行います。

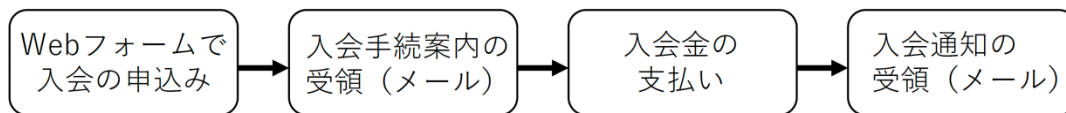
3-3. 会員費用

正会員は、入会時に入会金を支払い、翌年1月から年会費を支払います。賛助会員は、入会時と毎年1月に年会費を支払います。会費額は下記となります。

	入会費	年会費
正会員：団体	10,000 円	20,000 円
正会員：個人	5,000 円	7,000 円
賛助会員（1 口）		3,000 円

3-4. 入会の手続き

<入会手続きのプロセス>



入会申込は、Web フォームで行います。ACCSJ が入会を認めるとその旨が通知されますので、入会を求める者は、正会員の場合には入会費、賛助会員の場合には年会費の支払いを行います。その入金を確認されることにより、ACCSJ の会員となります。詳しい手続きは下記となります。

① 入会申込み

フォームに下記の項目を入力して申込みを行います。

主な入力項目：住所、団体名・氏名、連絡先（メールアドレス）、団体 Web サイト、認証申請についてのアンケート等

申込みサイトは、ACCSJ 公式 HP にあります。

⇒ ホーム > 会員について（ページの一番下にリンク先があります。）

② 入会手続案内の受領

入会申込者について、ACCSJ 運営委員会で入会の承認がなされます。承認後、申込みの際に記入いただいた E メールに、入会手続案内を送付します。

③ 入会金等の支払い

入会手続案内に、支払うべき額（入会金または年会費）や支払い方法、支払いの期限等が示されてい

ます。入会金等の支払いにより、入会の意思表示がなされたものとします。

④ 入会通知の受領

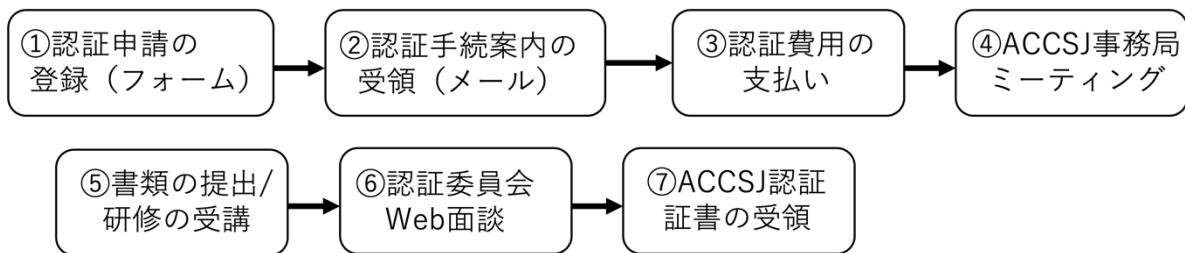
ACCSJ が入会金等の入金を確認したのち、入会通知を E メールにて行います。入会通知の発行日が入会日となり、その日以降、ACCSJ 正会員として ACCSJ のサービスを受けることができます。さまざまな ACCSJ からの案内は、申込時の E メールになされますので、E メールの変更がある際には、ACCSJ 運営事務局にお知らせください。

4. ACCSJ 認証手続きの詳細

4-1. ACCSJ 認証手続き

ACCSJ 認証は、次の手続きにより行います。

<ACCSJ 認証プロセスのイメージ>



① 認証申請の登録

認証申請の登録フォームに必要事項を記載して申込みを登録します。

登録に際して、会員番号、会員団体名・氏名、住所、連絡先 (Email, 電話)、認証申請の意思、ファーストミーティング日程の希望に関するアンケートを記載します。

登録フォームは、ACCSJ 公式 HP にあります。

⇒ ホーム > 認証について (「ACCJ 認証の手続きについて」の項目にリンク先があります。)

② ACCSJ 認証手続案内の受領

ACCSJ 運営事務局より、登録の際に記入いただいた E メールに、必要提出書類や研修プログラム、認証費用の支払い方法等についての情報が送付されます。送付された案内に、ACCSJ 運営事務局とのファーストミーティングの日程調整のお願いもあります。設定された期限内に、日程調整を終えるようにご協力ください。

③ 認証費用の支払い

認証費用を指定の方法で支払います。認証費用の入金が ACCSJ 運営事務局で確認された時点で、認証申請がなされたものとみなされます。

④ ACCSJ 事務局ミーティング

ACCSJ 運営事務局と Web ミーティングを行い、ACCSJ 基準を満たすことを示すために必要となる書類について確認します。未整備の書類について、ACCSJ 運営事務局がひな型の提示を含めて助

言をします。

⑤ 提出書類の提出／必須 ACCSJ 研修プログラムの受講

ACCSJ 基準を満たしているかどうかは、申請団体が基準を満たすことを確認する「ACCSJ 基準申告書」と申請団体が整備する諸規定や利用契約ひな型等により確認します。そのため、それらに該当する書類を整備して提出します。必要書類の整備では、メールや④Web ミーティングで、ACCSJ 運営事務局が助言を行い、必要な書類が提出されているか一緒に確認します。

ACCSJ 認証には、ACCSJ 基礎研修①の全てのプログラムを受講する必要があります。団体メンバー1名以上の受講が必要で、複数人で分担して受講することも可能です。

⑥ ACCSJ 認証委員会の Web 面談

ACCSJ 認証委員会の Web 面談（Zoom 等の Web 会議システムを使用）を実施します。申請団体の代表者あるいは管理者が面談者となり、最大で関係者3名まで面談に参加することができます。面談では、提出された書類についての確認や支援体制、支援実績、ACCSJ 研修の受講状況などについて確認をします。面談には、概ね30分を要します。

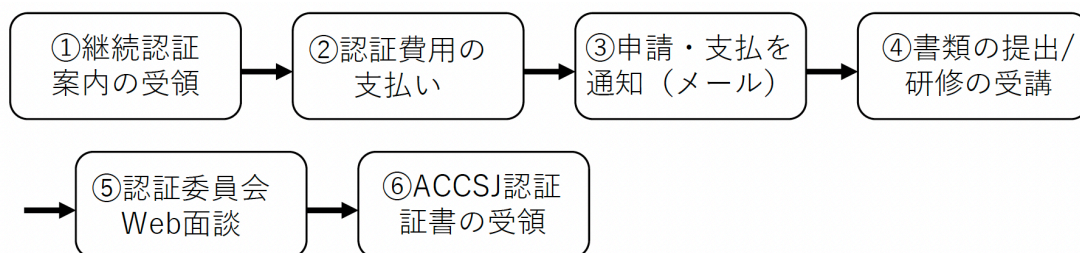
⑦ ACCSJ 認証結果の通知・ACCSJ 認証証書の交付

ACCSJ 認証委員会 Web 面談の後、ACCSJ 認証委員会が承認するかどうかを判断します。ACCSJ 認証委員会の認証結果は、申請時に登録した E メールに通知します。認証結果の通知の後、認証団体には、ACCSJ 認証証書および ACCSJ 認証マークをデータにて送付します。ACCSJ 認証を受けた団体および個人は、当該認証が有効である期間、ACCSJ 認証マークを、認証済みを示す目的で使用することができます。

4-2. ACCSJ 継続認証の手続き

ACCSJ 認証の有効期間は、認証証書に記載の日から、認証を受けた年の翌年1月1日を起算日とした3年間です。ACCSJ 継続認証を受けると、受講しなければいけない ACCSJ 研修プログラムが免除され、代わりに、ACCSJ 基礎研修①および②から3プログラムを受講すればよいなど、手続きが軽減されるとともに、申請費用が抑えられます。認証継続を希望する団体や個人は、ACCSJ 認証の有効期間（当該年12月31日）が満了するまでに ACCSJ 継続認証を完了する必要があります。

<ACCSJ 継続認証プロセスのイメージ>



① 継続認証案内の受領

ACCSJ 認証の有効期間が残り1年となる1年半ばに、ACCSJ 運用事務局より、認証更新時期と ACCSJ

継続認証についての案内が、Eメールで通知されます。その通知には、認証に係る ACCSJ 研修の受講履歴情報や継続認証費用の支払い方法が含まれます。通知受領について、確認の返信をお願いしていますのでご協力ください。また、継続認証の対象となる団体や個人で、有効期間最終年の1月後半を経過しても通知を受領していない場合には、ACCSJ 運用事務局にご連絡ください。

② 継続認証申請の意思表示と継続認証費用の支払い

ACCSJ 継続認証を申請する団体および個人は、①で案内した所定の方法で継続認証費用を支払い、継続認証申請をする旨と費用支払いについて、ACCSJ 運用事務局にEメールで通知します。継続認証費用の入金が確認された段階で、ACCSJ 継続認証申請がなされたものとみなされます。

③ 必要書類の提出・必須 ACCSJ 研修プログラムの受講

基本的には、前回の ACCSJ 認証あるいは継続認証を受けた際に確認した書類のうち、修正や変更があった点を中心に必要書類を確認します。必要書類の整備では、ACCSJ 基準を満たすように、ACCSJ 運用事務局が助言を行い、書類を確認します。基準を全て満たすことを確認した後に、必要書類の提出を完了します。

前回の認証を受けた日以降に、ACCSJ 基礎研修①および②の研修プログラムから、自由に選んだ3つ以上を受講する必要があります。前回の認証で受けた研修プログラムを再度受講することも可能です。継続認証案内に、前回の認証後の研修プログラム受講履歴がありますので、確認してください。団体の代表者1名以上の受講が必要で、団体メンバーが複数人で分担して受講することも可能です。研修内容は団体内で共有してください。

④ ACCSJ 認証委員会の Web 面談

ACCSJ 認証委員会の Web 面談(zoom を使用)を実施します。申請団体の代表者あるいは管理者が面談者となり、1名を想定しますが、最大で関係者3名まで面談に参加することができます。面談では、ACCSJ 認証を受けてからの実績や変更点を中心に、提出された書類や支援体制等について確認をします。面談には、概ね30分を要します。

⑤ ACCSJ 継続認証結果の通知・ACCSJ 認証証書の交付

ACCSJ 認証委員会の認証結果を、申請時に登録をうけたEメールで通知し、ACCSJ 認証証書を申請者が指定する住所に郵送します。ACCSJ 継続認証を受けた団体および個人は、当該認証が有効である期間、ACCSJ 認証マークを、認証済みを示す目的で使用することができます。

4-3. 認証・継続認証費用

① ACCSJ 認証費用：50,000円

- 認証費用に、1名分の ACCSJ 基礎研修①全部の受講費と、必要書類整備およびその他の認証に必要な事項についての ACCSJ 運営事務局の助言、支援費を含みます。
- 2022年10月から2023年12月の間に ACCSJ 認証申込の登録を行う場合には、初年度特例が適用され、認証費用が免除されます。詳しくは本文書「6. 初年度特例について」をご確認ください

さい。

② ACCSJ 継続認証費用：30,000 円

- 継続認証費用に、必要書類整備およびその他の認証に必要な事項についての ACCSJ 運営事務局の助言、支援費を含みます。

5. ACCSJ 研修

ACCSJ は、認証で受講を求める研修プログラムのほか、スキルアップのための研修や事例検討会（ACCSJ フォーラム）など、正会員に向けて面会交流支援の質を確保し、よりよい支援を可能にするための関係領域について研修プログラムを提供します。ACCSJ 研修プログラムリストは、ACCSJ の公式 HP に掲載されています。

5-1. ACCSJ 研修の種類と概要

① ACCSJ 基礎研修①（認証時必須研修）

ACCSJ 基礎研修①は、面会交流支援を行う個人や団体が必ず習得すべき知識を提供することを目的として構築されています。Web ライブ受講のものと動画受講のものがあり、ACCSJ 正会員は、申込みにより誰でも受講することができます。ACCSJ 基礎研修①は、認証を受ける際に全プログラムの受講が義務づけられています。また、継続認証の際に受講を求められる研修にカウントすることができる研修プログラムです。

② ACCSJ 基礎研修②（継続認証時カウント対象）

ACCSJ 基礎研修②は、よりよい面会交流支援の実現を目指す団体や個人が受講することを想定して、比較的大きい規模の団体マネジメントや困難ケース対応、ステップファミリーの知識、諸外国の動向など、幅広い基礎知識を身につけることができるよう整備しています。動画受講を基本として、ACCSJ 正会員は誰でも申込みにより受講することができます。ACCSJ 基礎研修②は、継続認証の際に受講が求められる研修にカウントすることができる研修プログラムです。2023 年度に整備し提供を開始します。

③ ACCSJ スキルアップ研修

ACCSJ スキルアップ研修は、面会交流に関するより深い知識の習得や、長年の面会交流支援の実績に基づく知見の共有、面会交流支援に直接関係しないが子どもの成長や家族支援に役立つ周辺知識の習得を目的として整備しています。基礎研修だけでは学べない DV をはじめとする暴力問題への対応や離婚当事者が経験するグリーフケア、ACCSJ がフォーラムで招聘した講師の講演などがその内容です。2023 年度以降に、順に整備していきます。

④ ACCSJ フォーラム

事例検討会等、面会交流のノウハウを共有し、互いに意見交換を行うことを目的とする正会員に限

定した ACCSJ フォーラムと、ACCSJ 公開イベントなど、会員以外も参加可能な ACCSJ フォーラムがあります。会員間の交流や意見交換を目的として2ヵ月毎に開催される「ACCSJ カフェ」のほか、困難ケースを検討する事例検討会は定期開催します。正会員である実務家や研究者による事例・研究の報告会、関心領域について専門家を招聘した講演会等を内容して開催する予定です。

5-2. ACCSJ 研修の参加資格および参加費用

	参加資格	受講費用
ACCSJ 基礎研修①	ACCSJ 正会員	2,000 円/時間 *
ACCSJ 基礎研修②	ACCSJ 正会員	2,000 円/時間
ACCSJ スキルアップ研修	ACCSJ 正会員	無料
ACCSJ フォーラム (会員限定)	ACCSJ 正会員	無料
ACCSJ フォーラム (公開)	各開催条件による	ACCSJ 正会員：無料 一般：開催条件による

*ACCSJ 認証を受ける個人および団体は、ACCSJ 基礎研修①について、申込みにつき1名分の全研修プログラムの受講が無料になります(認証申請費用に含まれます)。

6. 初年度特例について

ACCSJ 認証制度は、面会交流支援経験者や関係する専門家の協力を得て構築してきました。日本の支援の実態に則した制度となるよう慎重に検討を重ねてまいりましたが、実装させて検証する必要性があります。そこで、試行実施となる初年度の実施・検証のため、多くの団体に正会員になり認証を受けていただけるように、初年度(2023年12月末まで)の特例として、2023年12月までに認証申請がなされた場合の認証費用を免除します(認証費用:50,000円)。この機会に、ぜひとも正会員の申込みおよびACCSJ 認証申請をしていただき、制度の検証にご協力ください。何とぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人面会交流支援全国協会 https://accsjapan.com/ 問合せ: office@accsjapan.com
